

カフェあし跡アプリの開発と評価

今村 朋子

1. はじめに

近年、スマートフォンの普及が著しい。雑誌や新聞などの紙媒体の需要が低下する反面、電子書籍などによるデジタル化の需要が上昇している。それに伴う様々なサービスも登場している。特に利用者の評価が高いものはユーザーの利用欲を高め、親しみやすいデザインのものであると考える。

本研究では、カフェに着目し、親しみやすいアイコンを用いたカフェあし跡アプリを開発する。

2. カフェあし跡アプリについて

2.1 あし跡について

あし跡とは、過去訪れたお気に入りの場所や思い出を記録したものである。図1は実際にお気に入りのカフェをメモしたものである。あし跡の利点として、Webで検索しても得られない情報や、ユーザーの好みに合った情報の記録や閲覧がある。

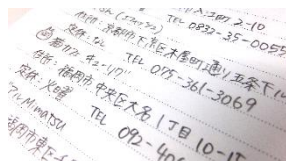


図1 手書きメモ

2.2 カフェあし跡アプリの設計

本アプリの設計のポイントは、①親しみやすいアイコンと、②直感的に操作し易いインタフェースの2点である。アイコンは、馴染みあるドット絵を用いて親しみやすくしている。またインタフェースは、メニューの種類とその階層を少なくし、分かりやすく整理している。図2にアプリ内で使用したアイコン、図3にアプリの画面遷移を示す。カフェのデータは新規登録画面を通して、カフェデータベースに保存される。表1にカフェデータベースの設計、表2に開発環境を示す。



図2 親しみやすいアイコン

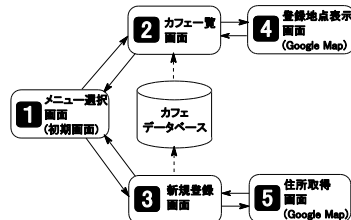


図3 アプリの画面遷移

表1 カフェデータベースの設計

カラム名	型	説明
id	integer	ID (番号)
name	text	カフェ名
address	text	住所
comment	text	一言コメント
category	integer	カテゴリ画像

表2 開発環境

構成要素	仕様
端末	Nexus7 16GB
OS	Android 4.3
開発環境	Eclipse 4.2 JUNO, Android SDK[1]
ライブラリ	SQLite
	Google Maps Android API v2

3. アプリの使用例

「初期画面」より、「カフェ一覧画面」と「新規登録画面」に移動することが出来る。「新規登録画面」ではカフェ名、住所、コメントを入力し、種類別のカテゴリを選択して、そのカフェ情報をカフェデータベースに書き込むことが出来る。「カフェ一覧画面」では、登録したカフェ情報を閲覧したり、削除したり出来る。更に、住所から位置情報を取得し、地図(Google Map)[1]でその地点を表示することも出来る。図4にカフェあし跡アプリの動作画面を示す。



図4 カフェあし跡アプリの動作画面

4. 評価

本アプリをGooglePlayにアップした後アンケートによる評価を行った。被験者8名の評価の平均を表3に示す。回答は1が「いいえ」5が「はい」の5段階である。

評価結果から、質問内容1, 2, 4の値が高く、デザインは扱い易く、親しみやすいものになっているといえる。ユーザーの利用欲は高いが、更なる向上も可能だと感じた。

表3 アンケートの評価結果

質問内容	平均値
1. 画面レイアウトの分かり易さ	4.75
2. 操作方法の直感的な分かり易さ	4.25
3. ヘルプの必要性を感じたか	1.38
4. アプリの支援目的の分かり易さ	4.25
5. 今後も使ってみようか	3.50

5. おわりに

本研究では、あし跡のようにカフェの情報を記録するアプリを開発した。今後の課題として、カテゴリの選択方法、登録内容の編集がある。また、Google Mapにおける地図表示の正確性を向上することも課題である。

【参考文献】

[1] 高橋 麻奈:“やさしいAndroidプログラミング第2版”, ソフトバンククリエイティブ株式会社, 2013.